



# 新「小郡市民のことば」を

# 募集します

市制施行した昭和47年、小郡市にふさわしい「市民の指標」として「小郡市民のことば」を作成しました。これは、市民公募192点から選考したものです。しかし、時代の流れとともに、私たちを取り巻く状況は大きく変化してきています。そこで、市制施行50周年を記念し、市民がめざす小郡市の未来像を表現した、新「小郡市民のことば」を募集します。

たくさんの  
応募を待ってるよ～



## 「小郡市民のことば」(昭和47年作成)

私たち小郡市民はみんな手を取りあって、今日のいこい明日のいこいの力の源としてのまちをつくるため、この市民のことばを定めます。

- 1. 公害のない、緑なすいこいのまちをつくりましょう
- 1. 伝統の美風をうけつぎ、明るいまちをつくりましょう
- 1. 文化財を守り、郷土愛に燃えるまちをつくりましょう

**対象** 市内在住・在勤・在学の人  
**内容** 市民がめざす小郡市の未来像を、1点20～30文字程度で表現したことば

※末尾は「～まちをつくりましょう」  
 ※一人5点まで応募可  
 例) 「地域のつながりを深め、笑顔あふれるまちをつくりましょう」  
 「緑豊かな自然を大切に、安らぎのあるまちをつくりましょう」

**申込方法** 持参、郵送(郵便番号・住所・氏名・電話番号を記載)、申込専用フォーム

**申込締切** 9月14日(水)必着

**【発表方法】**

市民のことばを5つ採用し、市制施行50周年記念式典、広報おごおり、ホームページで発表予定  
 ※採用者には、市長から感謝状を贈呈します



申込専用フォーム



申問 経営戦略課秘書係(本館2階)

〒838・0198  
 小郡市小郡255・1  
 ☎72・2111

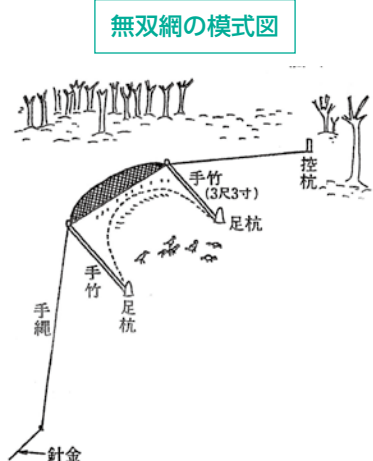
# 小郡と鴨の関わり 鴨を獲る

問 文化財課文化財係 ☎75・7555

7月1日号では、鴨が小郡市に飛んでくる理由を紹介しました。今回は、飛んできた鴨の捕獲方法を紹介します。

小郡市では、毎年11月から2月まで鴨猟が行われます。猟では銃、カケ針、網などが使われますが、網だけでも地域によってさまざまな種類があります。小郡市で使われるのは「無双(ムソウ)網」です。

無双網は、幅およそ2.5メートル、長さおよそ14メートルの横長の網です。ため池や深田などにまいた餌のそばに網を設置します。そして、鴨が来たときに遠くから針金で手縄を引っ張り、網が鴨に覆いかぶさる、という仕掛けです。



無双網の模式図

現在は鴨の飛来が減り、無双網で猟を行う人も少なくなっていますが、小郡市の鴨猟は今でも続いています。

1つの網で捕まえることができる鴨は、最大で300羽といわれており、過去に多い時には1回の猟で2,000羽も獲ったことがあったそうです。鴨猟が盛んな頃は、「もう鴨を見たくない」という声があがるほど鴨が獲れていました。自分の家で食べるほか、お客さんに振る舞ったり、鴨料理店や旅館などに卸したり、大阪まで売りに行ったりしていました。

小屋の中で、音を立てずに鴨の様子をうかがいます。そして、鴨が餌を求めて餌場に向かってくるときに、仕掛けによって鴨を捕まえます。



カモトヤ

小郡市内の鴨猟には、朝10時前後または昼1時過ぎに行う「昼とり」と、夕方4時前に行う「夜とり」があります。主に昼とりは横隈の井ノ浦ため池や三沢のため池で、夜とりは三沢の深田で行われています。鴨は人の声や姿に気が付くと逃げてしまうので、どちらの猟でも、仕掛けから離れたところに設置した「カモトヤ」という見張り

## 23もの鴨料理が大集結！

## 鴨料理の祭典「鴨まちコンテスト」を開催

問 鴨のまちプロジェクト実行委員会事務局(商工・企業立地課内)  
☎72-2111

市内23の飲食店が考案した鴨料理を各店で食べ比べてもらい、参加者の投票によってグランプリを決定します。参加に必要なチケットは、お得な前売りがおすすですよ。  
※本イベントでは合鴨肉を使用します

日時 10月25日(火)～27日(木)

各店営業時間内(ランチ営業店有)

参加店 市内飲食店23店舗

※参加店情報は、実行委員会フェイスブックで確認できます

※各店営業時間やメニューを掲載したチラシは、広報おごり9月15日号に折り込みます



限定500セット

### チケット概要

1セット2,700円(3枚綴り)

※当日券3,000円

※チケット1枚につき、コンテスト用料理1品+飲み物(選択制)

販売期間 9月26日(月)～10月23日(日)

販売会場 23店の参加店舗、小郡市商工会、小郡市観光協会、実行委員会事務局(市役所南別館1階商工・企業立地課内)

## 市制施行50周年記念 小郡市埋蔵文化財調査センター特別展

## 「小郡50年展～あの日の景色、覚えていませんか?～」

問 埋蔵文化財調査センター ☎75-7555

市制施行50周年を迎えた小郡市。まだ「小郡町」だった頃、人口は現在の6割ほどでした。現在の北部住宅地は木々に覆われ、主要道路となっている七夕道路や、毎年夏の恒例となっている夢HANABIなども、まだ存在していませんでした。この50年、何が起こり、変わり、そして今に至ったのでしょうか。

「小郡50年展」と題し、これまでの発掘調査の成果や、蓄積してきた歴史・文化などの資料をもとに、小郡市の50年を振り返ります。積み重ねられた多くの思いに触れ、新しい歴史を生み出す特別展です。



西鉄小郡駅(推定昭和63年以前)



小郡市役所開庁(昭和47年)

会期 9月10日(土)  
～12月6日(火)

9時～16時半

※毎月第3日曜・月曜日は休館

会場 埋蔵文化財調査センター展示室

入館料 無料

- ・「特別展記念バスツアー」を10月8日(土)に開催。詳しくは広報おごおり9月15日号でお知らせします。
- ・「特別展記念トークイベント」を10月23日(日)に開催。詳しくは広報おごおり10月1日号でお知らせします。

## 第14回小郡市文化協会芸術祭

場問 文化会館 ☎72-3737

入場無料

小郡市文化協会に所属する指導者が、伝統芸能の道を極めた熟練の技を披露します。

## ステージ部門

日時 9月24日(土)

11時～

会場 大ホール(全席自由席)

内容 吟詠(豊晃吟道会)、謡曲(喜多流)、ソプラノ独唱/ピアノ独奏、日本舞踊(花柳流)、箏曲

## お茶席(表千家)

日時 9月24日(土)

10時半～14時

会場 小ホール

※当日、お茶券を100円で販売(数量限定)

## 展示部門

日時 9月24日(土)～26日(月)

10時半～17時

会場 ホワイエ

内容 華道(池坊・フラワーアレンジメント)、書道(漢字・かな)、絵画(水墨画・絵手紙)、写真、手芸(手編み・日本刺繍)

